

いつか 必ず きつと

日々の授業は団体戦です。

6月3日（水）から、中学校の授業がスタートしました。「なぜ勉強するのか？」については、完全燃焼軍団だよりN.3で先生方それぞれに様々な答えがあるとおり、正解は一つではありません。しかし、授業に臨む態度は、それぞれに違ってもはいけません。学級のよい雰囲気をみんなで作って、お互いに刺激し合い切磋琢磨して学力を身に付けてもらいたいと思います。

1. 守る
 2. 声を届ける
 3. 気づく

1. 学級のよい雰囲気づくりにとって何よりも大切なのは、みんなが平等であることです。平等であることで安心感が生まれます。時計を見てチャイム2分前着席を守りましょう。先生達もチャイムと同時に授業がスタートできるようにします。そして、中学校は教科担任制になりますので、各教科担任の先生の指示を守りましょう。

2. 授業の開始など、話を聴くことが求められる場面の前には、必ず、号令のかかるあいさつがあります。そのあいさつは、機械的なコミュニケーションのためにやっているわけではありません。号令のかかるあいさつは、「聴く準備」のためにやっているのです。号令のかかるあいさつを、大きな声を出し、語先後礼で動作を合わせることで、たったこれだけで「聴く準備」が整います。集団として、一体感 + 緊張感が生まれるとともに、個人としては、脳が活性化し集中力が増します。

上手な返事の仕方やほんの一言を大切にすることも心がけましょう。プリントを渡された時に、「ありがとうございます」。提出物を出す時に、「お願いします」。忘れ物をした時に「すみません」。すわる時、解散する時、入室するときに「失礼します」。声は出すものではなく、相手に届けるものだという意識するようにしてください。

3. 人は学びながら成長していきます。学びとは、まず気づくことです。授業中に先生が板書したことだけをノートに書くのではなく、話していることで「はっ」としたことも書けるようになってもらいたいのです。そして、その気づきを授業の時間だけで終わらせないために、自分なりにわかりやすくノートにまとめ直すなどの主体的な復習によって、気づきが学びに変わります。

そういうことを習慣化できると、生活の中においても、気づいたことを自分なりに考え解釈し、他に流されることなく行動して成長できる自分になれるのです。

自主学習の約束事

・自主学習用のノートを1冊準備する。

(1) 自宅で、自主学習ノート1日1ページ以上をやる。自主学習ノートでなくても、各教科のワークをやって提出してもよい。ただし、ワークの場合は1日2ページ以上（2教科を1ページずつでもよい）とする。

※その日にやった授業の復習として、各教科のワークをどんどん活用しよう。

※月曜日は、金・土・日の3日分を提出すること。

(2) 朝、登校したら、やったところにしおりをはさみ、朝の読書の時間の前までに提出。

大切なのは、結果より経過です。続けること、続けること、あきらめずに続けること。



上手な返事は「受け取って、返す」

「はい」

「～です。」



(あいさつN.1の2組のみなさん)